

【定例】

山 行 報 告 書

山 名： 常念岳 2857m・蝶ヶ岳 2677m・大滝山 2614m (長野県安曇野市・松本市)	
入山日： 平成27年9月19日(土)～21日(月) (2泊3日)	
プラン担当者 正：岩田 副：	概略図
参加者	L: 岩田 報: 記: 深谷、蓑島 男 1名、女 2名、計 3名
記録	集合時間： 午前6時30分 集合場所： 大宮駅 新幹線南改札口前
9月19日(土)	6:42 大宮⇒かがやき 501号 7860円⇒7:39 長野 7:50⇒8:00 篠ノ井 8:01⇒
曇	9:04 松本 9:22⇒9:51 穂高⇒(外々- 5000円÷3人)⇒10:25 ヒエ平 1250m
	10:48 ヒエ平→12:13 三滝ベンチ→12:41 烏帽子沢→14:19 胸突八丁→14:43 水場→
	16:13 常念小屋(泊)2466m 9800円 Tel090-1430-3328
	計5時間25分(コ-タレ4時間35分)
9月20日(日)	6:03 常念小屋→7:29～8:05 常念岳△2857m→12:07 蝶ヶ岳→12:43 分岐→
晴	13:13 蝶ヶ岳ヒュッテ→13:40 蝶ヶ岳△2677m→15:52 大滝山北峰△2617m→
	15:55 大滝山荘(泊)9000円Tel090-1056-3455 計9時間52分(コ-タレ6時間35分)
9月21日(月)	6:35 大滝山荘→6:45 大滝山南峰△2625m→中村新道→9:25 大滝槍見台→10:34
晴	明神見晴→11:45～12:00 徳本峠→13:40～14:00 白沢出合・明神→14:45 上高地 1505m
	計7時間10分(コ-タレ6時間30分)
	15:30 上高地⇒バス(アルピコせせらぎ号 3400円)⇒18:10 長野
	19:35 長野⇒北陸新幹線はくたか 576号自由席1号車～4号車 5940円⇒20:51 大宮
荒天候時のエスケープルート：蝶ヶ岳より長堀尾根を下山	
装 備 と 食 糧	共同装備： ツエルト (1蓑島)、熊鈴 共同食： 無し 個人装備： ヘッドランプ、雨具、ザックカバー、防寒衣、手袋、コンパス、地図、テルモス、救急薬品、虫よけ、携帯電話、健康保険証、(ストック) 個人食： 小屋食以外は各自用意。行動食、非常食

感想	山名：常念岳・蝶ヶ岳・大滝山
----	----------------

9月19日(土) 第一日目

JR 穂高駅から予約しておいたタクシーで登山口のヒエ平へ到着。ここから一ノ沢沿いになだらかな登りが続く。胸突八丁から急登になり、高度があがるにつれガスが出てきた。ずっと沢の音が涼しげで暑さは感じなかった。

常念小屋に着き、夕方になるとガスの切れ間から槍ヶ岳などが望まれた。連休中で小屋は混んでいて、夕食は3交代で二番目の17時50分からとなった。部屋は定員8名のところ8名であったので、心配していたほどすし詰めとはならなかった。

9月20日(日) 第二日目

小屋から常念岳への登りはコースタイム1時間とあるがちょっと無理で1時間半かかった。常念岳頂上は狭く岩がごろごろして、登山者で混雑していた。晴れて展望は申し分ない \(\circ\)/

標高が高いところは紅葉が進んで、蝶ヶ岳付近は赤色、黄色できれいだった。蝶ヶ岳からの眺めも360度で槍・穂高連峰が素晴らしい。蝶ヶ岳頂上は蝶ヶ岳ヒュッテから5分のところにあり、いただきはなだらかだ。

蝶ヶ岳から大滝山へのルートはツアー団体は来ず、がらりと静かになった。途中ところどころにある池にはクロサンショウウオがたくさん泳ぎ、黄色く色づいた樹林帯の道は雰囲気最高♪♪♪



大滝山荘に泊まるのは約40年ぶりで大変なつかしい。その時登った徳沢から大滝山へのコースは今は廃道となってしまった。今回連休中にもかかわらず山荘はすいていて10人ほどの宿泊者だった。小屋はお兄さん一人ですべてをこなしていた。“静寂では北アルプス随一”がこの小屋のうたい文句だ。事前に宿泊予約は必要。テント場は小屋の近くの北峰にあり、5張りていっぱいであった。



夜、天の川が流れ、三日月が輝いていた。

9月21日(月) 第三日目

大滝山荘からすぐに大滝山南峰に着いた。ガーミンGPSによると標高2625mで北峰より少し高い。はるか遠くに盃を伏せたような富士山が見える。ここからは次第に高度を下げ樹林帯の中に入った。静かな縦走路だ。熊鈴を鳴らしながらコメツガなどの森の中村新道を行く。

大滝槍見台は2006年版の地図では崩壊の為使用禁止と明記されているが、新しく再建されていて丸太の展望ヤグラの上に立った。上部に白い雲がかかった穂高連峰が見渡せた。

徳本峠は四年前霞沢岳登山で2連泊したので、ここもなつかしかった。古びた徳本峠小屋旧館が歴史を感じさせる。

ここから上高地まで下山した。上高地は大混雑で、バスターミナルではバス待ちが数百メートルの行列であった。我々は長野駅行の高速バスを予約してあったので、スムーズに乗車することができた。長野駅で、はくたか号に乗り大宮へ帰った。

第一日目は沢沿いコース、第二日目はパノラマコース、第三日目は静かな樹林帯コースと、変化にとんだ秋の楽しい山旅であった。

以上